

心に残る文化財子ども塾 松江市立中央小学校

1. 活動の概要

6月26日（水）、松江市立中央小学校で、6年生2クラスの計46名を対象に「心に残る文化財子ども塾」を実施しました。

はじめに、古代出雲歴史博物館職員が奈良時代の概要を説明し、松江市内の遺跡の分布状況、奈良時代の小学校周辺の様子について、配布資料を用いながら解説しました。また、松江市内の遺跡で出土した須恵器に触れてもらい、奈良時代の人びとの暮らしを肌で体感してもらいました。

次に奈良の大仏に関する説明をクイズ形式で行った後、大仏パネルの製作に取り掛かりました。2クラスとも開始直後は苦戦している様子でしたが、みんなで声を掛け合ってスムーズに完成させることができました。その後、体育館のギャラリーに上がって大仏の大きさを体感してもらい、大仏パネルの上で記念写真を撮りました。

2. 活動の様子





3. 活動を終えて

1) 児童の皆さんから

- ・みんなで協力してパネルを並べることができた
- ・大仏の大きさを学ぶことができた
- ・須恵器の実物を初めて触って、重さを体験できた
- ・松江城などの島根の歴史、遺跡についてもっと知りたい
- ・島根県の古墳や出土したのを見たい
- ・博物館や歴史館に行ってみたい
- ・他の時代の島根の歴史についても調べてみたい
- ・昔の人もそばやしじみを食べていたのか知りたい

2) 担任の先生から

- ・先日学んだ大仏、聖武天皇の功績など、関連事項を直後に体験学習でき、実感を伴って改めて学ぶことができたのがよかった
- ・ここまでの教材づくりは到底できない中で助けていただいた
- ・地域のことを学ぶ時間、体験学習の時間など、もう少し長くてもよかった。次回は60分で組めるように考えたい

3) 古代出雲歴史博物館から

先生方にもお手伝いをいただきスムーズに準備を行うことができました。奈良時代の様子をできるだけ身近に感じてもらえるよう、小学校周辺の遺跡分布を紹介したり実際に児童の皆さんに考えてもらう時間を設けたりしました。大仏パネルの実習では声を掛け合い協力して並べることができ、手早く完成させることができました。全体的に駆け足の進行となってしまったため、今後は先生とも調整を行いゆとりのある授業を心掛けます。